

2016年（平成28年）12月16日

年末号 No. 72

（一社）東京都トラック協会青年部発行

編集者 中西 亮介

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL. 03-3359-4137

FAX. 03-3359-6020

URL <http://www.ttas.jp/>

価値観の共有こそ最も大事

本部長 結城 賢進

（深川支部 結城運輸倉庫（株））

青年部会員の皆様、こんにちは！ 日頃は、様々な事業活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。早いもので、今年もわずかとなりました。例年この時期になると、「もう今年も終わりか～、早いものだなあ～。」と決まって口にする自分がいますが、皆様はいかがでしょう？ 一般的に、歳を重ねるうちに日々の生活がルーチン化して物事に感動する場面が減り、時間を刻むスピード感が早くなっていくようです。子供の頃の1年間と大人の1年間では、その長さの感覚が全然違いますね。逆に大人になっても、様々な新しいことに挑戦したり、新しい知人や友人が増えたり、多くの感動する経験をすると、同じ1年間でも他の人よりも長く感じるようです。皆様はどんな1年だったでしょうか？

さて、決算月は各社それぞれだと思えますが、企業経営者として新年や年度初めに行うのが、企業としての経営目標や経営戦略を立てることですね。

ただ、最も重要なのは、それを実践し、達成するために共に戦う仲間、つまりは、社員の皆さんと価値観を共有することだと思えます。それぞれの立場で、それぞれの役割を持つ社員の皆さんが、「よし、やろう！」と思わない限り、目標も戦略も絵に描いた餅になります。青年部も来年に向けて様々な事業を行っていきたいと思えますが、最も大事なものは、価値観の共有、つまりは、親睦を深める中で、業界、各社、各会員の持つ課題・問題点を共有し、それぞれが良い方向に向かっていくためのコミュニケーションを深めることだと思っております。

来年は、新たな親睦行事も考えております。皆様とコミュニケーションを深め、連携の輪を広げていきたいと思えますので、どうぞよろしく申し上げます。

## ◇大田支部

11月12日（土）、13日（日）に平和島周辺の公園で開催された、大田区最大のイベント「OTAふれあいフェスタ」に参加いたしました。本年度は、『運送屋さんのおまつり広場』というタイトルで、ボールス、ピンボール、コイン落とし、宝釣りで楽しく遊んでいただき、最後に、ワッフル、ポップコーンを振る舞いました。

また、区内在住の小学生以下の子供たちを対象に「のってみたいな！こんなトラック」をテーマで、「夢を運ぶ未来のトラック～絵画コンクール展」も開催しました。（※今年度で11回目の開催です！）カラフルなトラックや1台で何役もこなせるトラックなど、いろいろなアイデアの作品を見ることができ、青年部一同、皆感心していました。入選した優秀作品については、大田区長より表彰を受けました。年々応募作品が少なくなる中、これからもずっと続けていけるよう、また、我々の業界に興味を持っていただけるように、日々頑張っていきたいと思います。

最後に、ご協力いただきました関係者の皆様、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

部長 金井 健蔵（株）共運

## ◇新宿支部

11月13日（日）、「新宿ここ・から広場」で恒例となった「第6回ここ・からまつり」が開催されました。天候にも恵まれ、寒さが続いた11月の中でも暖かく穏やかな陽気の一日となり、賑わいを後押ししてくれました。

ここ・からまつりは、子育て支援施設をはじめ、就労支援施設、高齢者福祉支援施設、多目的広場からなる複合施設（新宿ここ・から広場）で毎年開催されており、訪れる子供から高齢者まですべての世代、施設・団体、地域ボランティアが一体となって運営し、楽しみながら交流を深められる催しです。定番の焼きそばをはじめとした多くの屋台、ジャズ演奏、子供たちのダンス、輪投げやタグラグビーなど多くの子供で賑わう多目的広場において、新宿支部では、「移動動物園」を開催しました。この「移動動物園」は毎年恒例となっており、オープン時間前から長蛇の列ができていました。中には、少し大きめの子牛やヤギ、気軽にふれあえるウサギ、モルモットなどたくさんの動物がおり、途中、鶏が卵を産むなどハプニングもありましたが、子供から大人まで訪れた方々が餌やり体験等、動物との触れ合いを楽しんでもらうことができました。受付ではトラック運送業界の紹介パネルとノベルティ配布を行い、業界のアピールを行いました。

地域の方との交流、社会貢献活動を通して多くの方と交流し、まだまだ十分とは言えない

業界の認知・イメージアップ活動を続けてまいります。

情報通信員 諏訪 和正 諏訪運輸(株)

#### ◇城東支部

8月27日(土)、錦糸町の東武ホテルレバント東京において、江戸川・深川・城東の三支部青年部合同研修会を開催いたしました。本研修会は各支部の持ち回りで、今年は城東支部が担当となりました。

テーマは「薬物の危険性と乱用防止対策について」でした。城東警察署の刑事組織犯罪対策課の課長に講演のご依頼をして、いわゆる危険ドラッグについてお話しいただきました。昨今のニュースで危険ドラッグ絡みの事件が多い中、各社において社員の方々には注意していると思いますが、実際に危険ドラッグの現状はどうなっているの? というのが皆さんの率直な意見だと思います。そういう疑問点からこのテーマになりました。講演を聞いていて、いろんな薬物がいろんな方法で売られていて、しかも現役のトラックドライバーも捕まっていると聞いて、他人事ではないなと思いました。

普段、一人で黙々と仕事をこなしてくれているドライバーの皆さんが、悩んでいる時やストレスを感じている時に、安易に危険な薬物に手を出さないよう、私たちがしっかり対応して、心地よい会社になるようにしていきたいと思いました。

部長 高橋 伸明 (有)丸橋運送店

#### ◇足立支部

足立支部では、11月12日(土)に、今年で第3回目となる事故防止大会を行いました。当日はたくさんのご来賓の方にもご臨席いただきました。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

この大会は、小さい頃の夢に野球選手やサッカー選手と同列に「運転手になりたい!」というのがあったのに、今ではきつい仕事の1つに挙げられてしまっている業界のイメージアップ、そして、最前線で頑張っているドライバーの皆様に光が当たるようにという想いを込めて、「ドライバーに光を」を主旨に行わせていただいております。

まずは、永年勤続優良従業員表彰、長期無事故優良運転者表彰。株式会社スリーエスグループジャパン様による基調講演。そして、「さあ一見せるぞ! プロの誇りと笑顔のマナー」をスローガンに、足立支部他10支部から合計78社104名の方々にご参加いただいた「第3回足立式ドライバーコンテスト」の表彰式を行いました。日頃の運転業務の中での実際の

技術を見ることができ、必ず事故ゼロに繋がっていただける大会になったと思います。

この経験を生かし、「いっしょに安全！」を合言葉に、必ず来年もより良い事故防止大会を作り上げていきたいと思っておりますので、他支部の皆様方の来年度「足立式ドライバーコンテスト」へのさらなるご参加の程、よろしく願いいたします。

野山 貴裕 (株)三急運輸

#### ◇東京・滋賀の青年組織による意見交換会に参加して

10月1日(土)、東京・滋賀の青年組織による意見交換会に参加させていただきました。

今回は、滋賀県トラック青年協議会の方々が東京で研修見学会を企画されたことと絡めて、意見交換会を開催することとなり、品川の「船清(ふなせい)」(屋形船)にて行われました。

まず、滋賀の坂口第一事業委員長により開会挨拶が行われ、東京の結城本部長・滋賀の刈谷会長がそれぞれの組織を代表して挨拶をされました。

続いて、全ト協青年部会の部会長をされている、東京の山本関ト協担当委員長の声高々な乾杯のご発声により、8つのテーブルに分かれて意見交換が始まりました。今回は、特に全体のテーマ等は決めずに、自由に意見交換を行う形となっており、人材不足・長時間労働解消の取り組み方など、とても素晴らしく刺激的かつ有意義な時間となりました。他県で活発に活動されている青年経営者の方々から貴重な意見を聞ける場として、今後も意見交換会の開催をお願いいたします。滋賀の皆様には心より感謝いたします。ありがとうございました。また、企画された関係者の皆様、お疲れさまでした。

足立支部 白田 光治 (株)藤倉運輸

#### ◇東ト協青年経営者研修会に参加して

10月25日(火)、東ト協青年経営者研修会が、東京都トラック総合会館にて開催されました。

今回のテーマは「社長の仕事」で、講師は株式会社ビジネスバンクグループの代表取締役である浜口隆則氏でした。最初に自己紹介をいただき、自身は起業家であり、レンタルオフィス業界を構築し、現在は起業家の支援やサービスを提供する会社を運営されており、起業によって業界を創ることは、ライバルがいないため、価格設定が自分で決められる強みがあるとの話をいただきました。

自己紹介をいただいた後、いよいよ本題です。講義の冒頭は参加者の緊張をほぐすためのアイスブレイクとして「後出しジャンケン」を実施。通常のルールではなく、後出しで相手

に負けるなど、ルールを変えたジャンケン。やってみると意外に難しいんです。一見、ゲームのようですが、これも既にレクチャーの始まり。「ルールや環境の変化は対応が難しく、経営も同じ。そうした変化に対応できないと、経営の悪化に繋がる」とのことでした。

また、多くの経営者を見てこられた浜口氏によると、優秀な営業マンがたまたまいる等「偶然」に成功している会社が多いという。社長の仕事は「会社を継続させること」であり、継続ができていない社長は、過信をせず、学び続け、行動し続ける。つまりは「基本」がしっかりできていること。そのようにお話しいただきました。

この他、市場のニーズを見出した事例として、コーヒーショップの例を挙げ、「高価格・低価格・滞在型・テイクアウト」この4項目を軸として、既成市場である高価格滞在型の喫茶店、低価格滞在型のドトール等のコーヒーショップ、高価格テイクアウト型のスタバ等のスペシャルティコーヒーショップ、低価格テイクアウト型の缶コーヒー、そして、その規制市場の軸の中心に近年できたのが、コンビニやマックカフェ。少し立ち位置をずらすことで、新たな市場を見出せる話や、会社を継続させるための要素、営業力、管理力、良い人材を採用するためには何をすべきかなど、限られた時間の中で具体的な手法についてのレクチャーもいただきました。

また、講義の最後にお話しされた「悪しき現場主義」について、「社長の仕事はトラックに乗ることではなく、経営をすること。社員に理解されないかもしれないが、会社を継続させるために、社長の仕事をしっかりと行うことが大事」とのお話しは大変印象に残っております。ノンストップで2時間に渡る集中的な講義。耳の痛いと思うお話もありましたが、改めて、兜（かぶと）の緒を締め直す＝身を引き締める想いを胸に、帰路についた次第です。

幹事 新井 裕輔（港支部 汐留運送(株)）

#### ◇関東トラック協会青年部会研修見学会に参加して

11月10日（木）、関東トラック協会青年部会研修見学会が開催され、日本の空の玄関と言われる「成田国際空港」の貨物ターミナルを視察させていただきました。

今回の視察は滅多に入れない貨物地区・制限区域内の視察でした。基本的にはバスの車中からの視察になりましたが、制限区域へ入る際や、滑走路の近くをバスで移動する時はとても緊張感がありました。特に制限区域内は、法律上、国外扱いとの説明があり、ターミナル内は飛行機優先、離着陸の妨げになると大きな問題になるため、ご案内いただいたスタッフの方やバスのドライバーの方が細心の注意を払われていたことがとても印象的でした。

成田空港は、乗り入れ航空会社が94社、世界110都市への就航を行っており、2014年時点で貿易額は世界第6位、航空旅客数は世界第16位、また、貨物ターミナルは日本

最大で世界第5位、累計5,000万トン（1日5,000トン）もの荷物を取り扱い、人々の生活・経済を支える存在として活躍しているとのことです。

日本最大といえど何と言っても長さ4,000メートルの滑走路です。本当に広くて長い滑走路でした。そのすぐ脇にバスを停車し、唯一バスを降りて飛行機の離着陸を見学させていただきました。間近に400トンもの飛行機が離着陸する迫力とジェットエンジンの音に皆さん興奮しておりました。そして、本当に近い距離で記念撮影をいたしました。

成田空港は利便性だけでなく、環境面にも力を入れており、様々なお話の中から2020年の東京オリンピックに向けての取り組みや世界に日本をアピールする先進的な空港としての「おもてなし」を目指していることがすごく伝わってきました。我々トラック運送事業者もこれからの国際物流ネットワークの一端を担う者として、世界に「おもてなし」の精神で大胆かつ繊細な日本の物流をアピールできればと思いました。その後の研修発表会と交流会は言うまでもなく大盛況の中、幕を閉じました。

最後になりますが、今回ご担当された千葉県の青年部会の皆様、企画及び運営、本当にありがとうございました。この場をおかりして御礼申し上げます。

渡邊 和雄 （有）大網運輸